

芸術と憲法を考える連続講座 第6回

知ってますか？ 作文・美術教育が 罪とされた時代

日時： 2018年5月19日（土）14:00-16:30（開場 13:45）

会場： 東京藝術大学上野キャンパス音楽学部5号館1階109教室

入場無料（申し込み不要）

治安維持法下の日本で、多くの若い国語教師、美術教師、美術部の学生らが逮捕された、北海道綴方教育連盟事件、生活凶画事件とは？ 治安維持法の再来ともいわれる特定秘密保護法・共謀罪法が成立し、政府・与党主導の憲法改正までが叫ばれる今、私たちは歴史から何を学ぶのか？

講師： 佐竹直子さん（北海道新聞記者）

1966年、釧路市生まれ。NHK釧路放送局などを経て、北海道新聞釧路支社報道部記者。北海道新聞釧路根室版に31回にわたった連載をもとにまとめた著書『獄中メモは問う 作文教育が罪にされた時代』（北海道新聞社、2014年）で、2015年度日本ジャーナリスト会議賞（JCJ賞）、地方出版文化功労賞を受賞。



※上映予定：ドキュメンタリー『伝える、伝わる～生活凶画事件の証言』（19分、制作 旭川工業高校放送部「KBS旭工放送局」、全映協グランプリ学生部門優秀賞）



▲熊田満佐吾（東京美術学校 師範科卒）作『測量隊の話』



← 最新の情報は、藝大有志の会 HP にアクセスして下さい。

※藝大生も一般市民も、どなたでもご参加いただけます。

主催 東京藝術大学音楽学部楽理科／後援 日本ペンクラブ

共催 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

お問い合わせ: kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）